

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		岩手県土木工事費設計積算システム活用連絡協議会参画事業			事業コード	0714
担当課等	所属名	建設部 道路建設課		担当係名		
	課長名	片岡 修	担当者名	建設部 道路建設課 藤川 浩一	電話番号	2732

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	都市活動を支える交通環境の構築	コード 8
	基本事業	幹線道路の整備	コード 4	関連予算 費目名	一般会計 8款 2項 3目 総務事務(001-01) 一般会計 8款 4項 3目 地方道路臨時交付金事業(001-03) 一般会計 8款 4項 3目 市単独街路事業(001-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 6年度～)					
事務事業の概要	岩手県土木工事費設計積算システム活用の効率化を図るため、県内31市町村と2法人からなる連絡協議会において、システムの運用等に関する情報交換や連絡調整を行っている。事務局は、盛岡市となっている。					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
設計積算事務の大幅な改善と効率化のため、岩手県が開発した積算システムの無償提供を受け、平成6年度から関係市町村等からなる連絡協議会を立ち上げ、システム活用に関する連絡調整を行ってきた。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市町村独自のシステム開発は、費用や組織体制の面から困難なため、構成団体から、県に対し無償提供の要望を行うよう養成されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
市町村合併により、岩手県土木工事積算システム活用会員数が減少してきている。また、岩手県より無償でシステムの提供を受けているが、厳しい財政状況が続いているため、今後、有償使用の可能性も考えられる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	協議会の会員	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 会員数	単位	会員
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・活用連絡協議会理事会、総会の開催 ・関係市町村へのバージョンアップ等の 情報提供 ・研修会の開催、電子納品講習会の開催 ・その他県及び関係市町村の連絡調整 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 活用連絡協議会理事会、総会の開催 ・関係市町村へのバージョンアップ等の 情報提供 ・研修会の開催、歩掛講習会等の開催 ・その他県及び関係市町村の連絡調整	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 理事会、総会開催回数	単位	回
				B. 情報提供件数	単位	件
				C. 研修会開催日数	単位	日
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	積算システムに関する情報交換や連絡調整を行うことにより、積算システム活用の効率化を図り、協議会会員の設計積算の事務改善を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 理事会、総会の参加人数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	人
				B. 積算システムのバージョンアップ回数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	回
				C. 研修会参加延べ人数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	人
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	円滑に移動できる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	幹線道路改良率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	会員数	会員	33	33	33	33	33	33	26年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	理事会、総会開催回数	回	2	2	2	2	2	2	26年度
活動 指標B	情報提供件数	件	16	14	12	15	12	12	26年度
活動 指標C	研修会開催日数	日	2	4	4	4	4	4	26年度
成果 指標A	理事会、総会の参加人数	人	33	35	38	35	38	38	26年度
成果 指標B	積算システムのバージョンアップ回数	回	16	14	12	15	12	12	26年度
成果 指標C	研修会参加延べ人数	人	74	74	80	70	80	80	26年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	400	365	215	234	383	383	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	400	365	215	234	383	383	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	400	365	215	234	383	383	*****
	延べ業務時間数	時間	85	85	85	85	85	85	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	340	340	340	340	340	340	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	740	705	555	574	723	723	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 結びついている	理由: 幹線道路の整備に係る設計積算だけでなく、全庁的な公共事業の設計積算に係わるものである。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 公共事業の設計積算を行うものであるため。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 積算システムを使用して、公共事業の設計積算を行う市町村等協議会会員が対象のため。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 積算システムを使用している市町村等協議会会員の積算等の効率化を図るものである。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 土木工事設計積算システム講習会の他、歩係等の講習会を開催することにより、設計に関する理解を深め積算システムの有効活用が出来るものである。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 市町村等協議会会員の施工する公共事業の積算が困難になり、公共事業の執行に支障をきたす。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 新たなシステムの導入は、多くの費用と新たな組織上の体制が必要であり、市町村独自では困難である。現在のシステムは、岩手県より協議会会員の市町村が無償提供を受けている。また、設計単価や歩掛改訂及びプログラムの更新等は、ネットワークを介して配信されるため、これに係る費用と時間が全くからないう、最大のメリットがある。よって、新たなシステム構築や他との統廃合及び連携については、現在の積算体系においては、検討の余地がないものである。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 協議会未加入の市町村に加入してもらうことにより、一市町村あたりの負担を軽減することは可能であるが、現時点においては、新たな加入希望の見込みはたっていない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 連絡調整には、市町村に一斉FAX送信・庁内には電子メールで送信していることから、人件費の削減は出来ない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 積算システムの活用を希望する県内の市町村は会員となることできる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 積算システムの基準データ使用料を各市町村等が均等に負担していることから、公正である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 関係市町村と連絡調整を図り、効果的な研修会の開催を継続していく。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 協議会・総会等の意見を反映し、各市町村が公正に積算システムを使用出来るようにする。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>適時適切な講習会の開催を検討するとともに、今後もより使いやすいシステム構築に向け検討を進める必要がある。 また、未加入市町村への積極的なPRが望まれる。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>講習会の適切な時期の開催と未加入市町村へのPRに努めるとともにより使いやすいシステム構築に向け検討を進める。</p>												